

広島大学大学院社会科学研究科
(博士課程前期)

学生募集要項

平成 24 年 (2012 年) 4 月入学

法政システム専攻

平成 23 年 (2011 年) 11 月

目 次

(法政システム専攻)

1. 募集人員及び試験場	1
2. 出願資格	1
3. 出願期間	2
4. 出願手続	3
5. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の相談	4
6. 合格者発表	4
7. 入学に関する経費	4
8. その他留意事項	4
9. 社会科学研究科概要	5

(法政システム専攻)

入学試験実施日時及び入学者選抜方法	6
一般選抜	7
社会人特別選抜	8
フェニックス入学 (55歳以上)	8
学生募集要項に関する照会先	10

広島大学大学院社会科学研究所 (博士課程前期) 学生募集要項

① 募集人員及び試験場

平成24年4月入学生

専攻名	選抜の区分	募集人員	試験場
法政システム専攻	一般選抜 社会人特別選抜 フェニックス入学	10名程度	広島大学法学部・経済学部

※フェニックス入学とは、学位取得を目指す高齢者を対象とした社会人特別選抜です。

※試験場へのアクセスは、法学部ホームページでご確認ください。

② 出願資格

(A) 一般選抜

次の各号のいずれかの資格を取得した者又は平成24年3月31日までに取得見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第104条第4項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) ※専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) ※法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) ※本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、22歳に達したもの
- (10) ※大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

※ 出願資格(6)による出願については、平成23年12月16日（金）までに、専攻の入試担当へ照会してください。

※ 出願資格(8)については、平成14年4月1日以降に他の大学院に飛び入学した者が、本学大学院に出願する場合に該当します。この資格により出願しようとする者は、専攻の入試担当へ照会のうえ、平成24年1月4日（水）から1月6日（金）の間に事前審査の手続きをしてください。

※ 出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業者やその他の教育施設等の修了者等で、22歳に達したものが該当します。この資格により出願しようとする者は、専攻の入試担当へ照会のうえ、平成24年1月4日(水)から1月6日(金)の間に下記の書類等を願書受付場所(4. 出願手続参照)に提出してください。

- ① 事前審査申請書(交付の用紙を使用してください。)
- ② 出身学校等の成績証明書又はこれに代わるもの(4.(2)出願書類のうちウに示す書類)
- ③ 出身学校等の卒業証明書又はこれに代わるもの(4.(2)出願書類のうちウに示す書類)
- ④ 各種資格試験の合格通知書・資格の内容を説明する書類、論文・レポート、その他の業績、又はこれに代わるもの

※ 出願資格(10)による出願については、出願時に3年次(5年課程の場合は4年次)に在学中の者で、卒業に必要な全単位の75%以上を3年次終了時(5年課程の場合は4年次終了時)までに修得し、総修得単位のうち優(A)以上の単位の比率が70%以上の者が該当します。この資格により出願しようとする者は、入試担当に照会のうえ、平成24年1月4日(水)から1月6日(金)の間に事前審査の手続をしてください。

出願資格(10)による入学者に係る注意事項

- ① 出願資格(10)により入学した者の学部学生としての学籍上の扱いは、退学となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がないこととなりますので、十分注意してください。
- ② 合格発表後の入学手続き時に大学3年間に修得し確定した成績証明書を提出していただきます。これによって上記出願資格(10)の※印の要件が満たされているかどうかを確認し、満たされていない場合は合格を取り消します。

(B) フェニックス入学

平成24年4月1日現在の年齢が55歳以上の者で、かつ、前記(A)の各号のいずれかに該当するもの

③ 出願期間

平成24年1月16日(月)から1月20日(金) 午後5時まで(必着のこと)

(郵送の場合は書留郵便とし、封筒表面に「社会科学研究科博士課程前期法政システム専攻願書在中」と朱書きし、出願期間内に到着するよう送付してください。

なお、直接持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。)

④ 出願手続

志願者は、(2)の書類を取りそろえ、(1)の出願書類提出先に提出してください。

(1) 出願書類提出先

専攻名	提出先の住所等
法政システム専攻	〒739-8525 東広島市鏡山一丁目2番1号 広島大学大学院社会科学研究所学生支援室(法政システム専攻入試担当) TEL(082)424-7148 Eメール syakai-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

※ 電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、東広島市へ電話する場合、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

(広島市、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町の各地域)

(2) 出願書類

ア	入学志願票・ 受験票・写真票	(交付の用紙を使用)
イ	住所票シール	(交付の用紙を使用) 「合格通知書」, 「入学手続書類」の送付に使用します。
ウ	成績証明書及び 卒業(見込)証明書	出身大学(学部)発行のもの。
エ	返信用定形封筒	受験票の送付に使用するのので, 定形封筒(長形3号 23.5 cm × 12 cm)に住所, 氏名を明記し, 80円切手を貼ったもの。 (直接持参する場合も提出してください。)
オ	検 定 料	30,000円 広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)[本学専用用紙]により, 入学志願票貼付用, 志願者保管用, 入学検定料振込依頼書(入金票)の太ワクの中に, 志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して, 都市銀行, 地方銀行等の本支店で振り込んでください。(ゆうちょ銀行及び郵便局(以下「ゆうちょ銀行」)から振り込む場合は, ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等, 別途手続きが必要となります詳細は同封の振込依頼書(入金票)をゆうちょ銀行窓口にて提示の上, ご相談ください。また, ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。) なお, 振込手数料は振込人負担となります。 また, 「受付金融機関出納印」欄には, 出願期間の最終日までの出納印のあるものに限り有効となりますので, 都市銀行, 地方銀行等の窓口での受付時間を確認のうえ振り込みを行ってください。
カ	入学検定料 振込証明書	入学志願票貼付用(入学検定料振込証明書)は, 入学志願票の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付して提出してください。

※ 出願書類については, 上記以外のものの提出を求めることがありますので, 専攻のページを参照して, 提出漏れのないよう注意してください。なお, 国費外国人留学生は, 検定料は不要です。
また, 出願書類のうち, 外国語で書かれた証明書等には, 日本語訳を添付してください。

(3) 出願方法及び注意事項

- ① 出願書類等は, 一括して出願期間内に到着するよう提出してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は, 受理しないことがあります。
- ③ 出身大学において, 前号ウの書類を作成できない特別な事情がある場合は, これに代わる適当な書類を提出してください。ただし, 出願書類を提出する前に, 専攻の入試担当へ照会してください。
- ④ 証明書記載の氏名が, 婚姻等の理由により現在の氏名と異なる場合には, それに関する証明書も併せて提出してください。
- ⑤ 出願手続後は, 志願票等の記載事項の変更は認めません。また, 検定料の返還はしません。
- ⑥ 受理された出願書類は, いかなる理由があっても返還しません。

⑤ 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の相談

障害を有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を平成24年1月6日（金）までに専攻の入試担当へ提出し、相談してください。

申請書の記載内容

- ア. 志願者の氏名，住所（連絡先電話番号も記載してください。）
- イ. 志願する専攻
- ウ. 障害の種類・程度（現に治療中の者は，医師の診断書を添付してください。）
- エ. 受験上特別な措置を希望する事項
- オ. 修学上特別な配慮を希望する事項
- カ. 出身学校でとられていた特別措置及び日常生活の状況

⑥ 合格者発表

平成24年2月20日（月）13時の予定です。

試験場に掲示するとともに，専攻のホームページに掲載し，合格者には郵送により通知します。
なお，電話等による照会には応じません。

⑦ 入学に関する経費

入学時期	平成24年4月	
入学料	282,000円	
授業料	前期分	267,900円
	後期分	267,900円
	年額	535,800円

- (1) 既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 上記記載の金額は平成23年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には，改定後の納付金を納入することになります。
- (3) **国費外国人留学生は，入学料及び授業料の納付を必要としません。**
- (4) 平成24年3月下旬の指定する時期に入学手続きを行うこととなりますが，詳細については別途お知らせします。

⑧ その他留意事項

- (1) 出願手続後は，志願票等の記載事項の変更は認めません。また，検定料の返還はしません。
- (2) 志願者は，試験前日に試験場に行き，試験に関する諸注意を承知しておいてください。
- (3) 受験について不明な点があれば，3ページの4. (1) 出願書類提出先に記載の専攻入試担当へ照会してください。

また，気象状況の悪化，流行性の伝染病等により入学試験の実施が危ぶまれる場合は，社会科学部各専攻のホームページにて，延期及び試験時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので，必ずご覧ください。

- (4) 出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別，その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は，学生支援関係（奨学金申請，授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的を持って本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

⑨ 社会科学部研究科概要

1. 本研究科は、広島大学における大学院改革の一環として構想され、法学研究科修士課程（法学部）、経済学研究科修士課程（経済学部）及び地域研究研究科修士課程（総合科学部）を基礎として、大学教育研究センター等の協力のもとに設立されました。平成 12 年度から独立専攻として社会人のために専ら夜間に教育を実施するマネジメント専攻が設置され、平成 16 年度から「個性ある社会科学」構築にふさわしい教育・研究体制を前進させるため、法律学専攻を法政システム専攻に、経済学専攻を社会経済システム専攻に、また、国際社会論専攻、マネジメント専攻においても専攻の充実を図りました。平成 18 年度に、国際社会論専攻が新たに設置された総合科学研究科に移管したことに伴い廃止されました。
2. 本研究科は、次の 3 専攻からなり、各専攻とも積みあげ方式の博士課程であって修業年限を前期 2 年、後期 3 年としています。
 - (ア) 法政システム専攻：本専攻は、現代社会が生み出す諸問題の解決という要請に応えうる教育・研究を、主として政治・社会的アプローチと法律学的アプローチの有機的な連携のうえ行うことを目指しています。
 - (イ) 社会経済システム専攻：本専攻は、経済学を主要な武器として社会科学の一翼を担うため、急展開をみせる経済システムのみならず、社会システムにも着目し、危機管理能力を含む広義のマネジメント能力を備えた、研究者を含む高度専門職業人の育成を目指しています。
 - (ウ) マネジメント専攻：本専攻は、「地域の経済、社会、文化における独立心あるいは起業心あふれる人材」、「様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力を有す人材」、「情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し、ネットワークを構築・運用できる人材」、「アジア・中国の日系企業で活躍する日本型マネジメント能力を持った人材」、「理論と実践の融合を図れる研究者」の育成を目指しています。
3. 本研究科は、教育研究の活性化を図り、新しい課題に積極的に取り組むため、各専攻とも他専攻、他研究科との教育研究協力を努め、個々の学生指導に当たっても複数教員による指導制を採用しています。
4. 本研究科は、社会人・他分野の修士課程修了者で、博士課程後期に編入学を希望する者に対しても広く門戸を開放しています。
5. 本研究科の博士課程前期の修了者には、法政システム専攻においては修士（法学）又は修士（学術）、社会経済システム専攻においては修士（経済学）又は修士（学術）、マネジメント専攻においては修士（マネジメント）の学位が授与されます。

また、同後期の修了者には、法政システム専攻においては博士（法学）又は博士（学術）、社会経済システム専攻においては博士（経済学）又は博士（学術）、マネジメント専攻においては博士（マネジメント）の学位が授与されます。

法政システム専攻

入学試験実施日時及び入学者選抜方法

学力検査（筆記試験，口述試験）及び成績証明書を総合して選考します。

下記の3コースを設け，選抜を行います。

学力検査のうち，一般選抜コースの筆記試験については，書類審査のみで選抜する方法があります。一般選抜コース志願者が，書類審査のみで選抜する方法を希望する場合は，当該科目免除要件欄の提出書類の項に記載した書類を出願時に提出してください。（「写し」を提出した場合は，原本を口述試験時に持参し，試験委員に提示してください。）

	一般選抜	社会人特別選抜	フェニックス入学
目的	(1) 学部での法律学等の学習を継続し，幅広い分野での高度な応用力を養い，国家試験等に対応できる知識・能力を修得します。 (2) 法律学，政治学，国際政治学又は社会学等における特定の専門分野についての高度な理論的知識及び研究能力を修得します。 (3) 大学卒業後の職業的活動から生まれた問題意識に基づいて，各人の定めたテーマを学問的見地から検討します。		
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文（博士課程前期で修了する者は2万字程度のリサーチペーパー） ・30単位以上修得 ・研究指導 教授会が優れた業績を上げたと認める者については，1年間での修了が可能です。		
その他	博士課程後期に進学するためには，修士論文（4万字程度）を作成しなければなりません。		

※注 入学後の指導教員の決定については次のとおり取り扱うこととします。

入学後，学生の希望を調査し，調整のうえ指導教員を決定します。

場合によっては，第1希望以外の教員が指導教員となることもあります。

月 日		2月13日（月）		2月14日（火）	
法政システム専攻	一般選抜	9:00～12:00	/	10:00～12:00	13:00～17:00
		筆記試験 （専門科目） （外国語）		口述試験	口述試験
	社会人特別選抜	9:00～10:30		10:00～12:00	13:00～17:00
		筆記試験 （小論文）		口述試験	口述試験
	フェニックス入学			10:00～12:00	13:00～17:00
				口述試験	口述試験

一 般 選 抜

学力検査 第1類と第2類の分類は、9ページの分類表の希望する専門科目により分類します。

提出書類		修学計画書（約800字）（加えて卒業論文又はそれに代わる論文を提出してもよい。） 〔出願時に提出してください。〕		
	第1類	下記の科目の中から2科目選択（3時間） 外国語を2科目選択することはできません。 憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法、労働法、民事訴訟法、国際法、国際私法、法哲学、法制史、租税法、英語、ドイツ語、フランス語、 日本語（外国人留学生のみ） なお、外国人留学生については専門科目1科目、外国語科目（日本語）1科目とします。		
	第2類	下記の科目の中から2科目選択（3時間） 外国語を2科目選択することはできません。 政治学、政治思想史、政治史（西洋）、政治史（日本）、行政学、アジア政治、政治過程論、国際政治学、国際政治経済学、外交史、社会学、法社会学、英語、ドイツ語、フランス語、 日本語（外国人留学生のみ） なお、外国人留学生については専門科目1科目、外国語科目（日本語）1科目とします。		
		免 除 要 件	提 出 書 類	
筆 記	専 門 科 目	第1類	(1) 本学を今年度卒業見込みの者、又は本学を平成20年9月以降に卒業した者で、出願時点までに法学部開設専門科目（演習及び外国書講読を除く）修得単位数のうち法律系科目のみで秀及び優評価が30単位以上あるもの (2) 司法試験短答式に過去3年以内に合格した者	/
		第2類	本学を今年度卒業見込みの者、又は本学を平成20年9月以降に卒業した者で、出願時点までに法学部開設専門科目（演習及び外国書講読を除く）修得単位数の秀及び優評価が30単位以上であり、かつ、政治系・社会系科目の秀及び優評価が20単位以上あるもの	合格通知書
試 験	外 国 語 科 目	過去3年以内に下記の外国語能力を証明する試験の一に合格し、又は基準を満たした者 英 語＝国連公用語英語検定 B級以上 実用英語技能検定試験 準1級以上 ケンブリッジ英検 CAE 1級以上 TOEFL®-PBT テスト 530点以上 (CBTの場合：197点以上、iBTの場合：71点以上) TOEIC(R)テスト 660点以上 IELTS 6.0ポイント以上 ドイツ語＝ドイツ語技能検定 2級以上 Zertifikat Deutsch als Fremdsprache 取得 フランス語＝国連公用語フランス語検定 B級以上 実用フランス語技能検定 2級以上 パリ大学語学認定試験 初級以上 DELFI 1以上に合格した者		合格又は成績を証明することのできる書類 (又はその写し)
		口述試験		受験した専門科目を中心に日本語で行います。 専門科目を免除された者については、「修学計画書」に基づいて日本語で行います。

- * 第1類希望者へは、専門科目試験時に六法を貸与します。
- * 外国語科目（英語・ドイツ語・フランス語）試験時に辞書1冊（電子辞書を除く。）の持込みを認めますが、外国語科目（日本語）については、辞書の持込みを認めません。

社会人特別選抜

出願資格	大学を卒業した者、又は、大学を卒業見込みの者で、出願時に官公庁・企業等に連続して2年以上正規職員としての在職経験を有するもので、出願資格（A）【1ページ参照】の各号のいずれかに該当するもの
提出書類 〔出願時に提出してください。〕	①在職経験を証明する書類 ②推薦書（様式は自由。職場の上司、所属団体等が作成のうえ、厳封されたもの） * 推薦書は、任意提出とします。 ③志望理由書 （交付の用紙を使用） * 公表されたレポート等3点以内の補助資料の添付を認めます。 ④修学計画書（約800字）
筆記試験	小論文（1時間30分）
口述試験	志望理由書、修学計画書に基づき日本語で行います。

フェニックス入学

出願資格	平成24年4月1日現在、55歳に達したもので、出願時に官公庁・企業等に連続して2年以上正規職員としての在職経験を有するもので、出願資格（B）【2ページ参照】に該当するもの
提出書類 〔出願時に提出してください。〕	①在職経験を証明する書類 ②推薦書（様式は自由。職場の上司、所属団体等が作成のうえ、厳封されたもの） * フェニックス入学志願者についても、任意提出とします。 ③志望理由書 （交付の用紙を使用） * 公表されたレポート等3点以内の補助資料の添付を認めます。 ④修学計画書（約800字）
口述試験	志望理由書、修学計画書に基づき日本語で行います。

採点基準・合否判定の基準

筆記試験（各100点満点）は、各科目の得点を総合してA～Dの4段階評価（筆記試験免除者は、合格答案を作成する能力がある者とみなして評価）し、口述試験は、成績証明書等の提出された書類も総合してA～Dの4段階評価します。筆記試験と口述試験の評価を総合して合否を判定します。

なお、いずれかの試験でD評価があれば不合格とします。

第1類及び第2類の分類表

第1類と第2類の分類は、希望する専門科目により分類します。

分類	区分	専門科目及び担当教員
第1類	専門科目	憲法，行政法，刑法，刑事訴訟法，刑事政策，民法，商法，労働法，民事訴訟法，国際法，国際私法，法哲学，法制史，租税法
	担当教員	西村 裕三，横藤田 誠，横山 信二，松生 建，吉中 信人，鳥谷部 茂，堀田 親臣，山口 幹雄，松原 正至，岡田 昌浩，三井 正信，宮永 文雄，西谷 元，中坂 恵美子，相澤 吉晴，吉原 達也，手塚 貴大
第2類	専門科目	政治学，政治思想史，政治史(西洋)，政治史(日本)，行政学，アジア政治，政治過程論，国際政治学，国際政治経済学，外交史，社会学，法社会学
	担当教員	牧野 雅彦，森邊 成一，山田 園子，川崎 信文，吉田 修，永山 博之，鈴木 一敏，寺本 康俊，江頭 大藏，鈴木 玉緒，浅利 宙

この分類表は、入学試験のための分類です。

入学志願票欄記載の際の注意事項

1. 専攻科目欄

専攻科目欄は、入学後、主に専攻したい科目を上記分類表の専門科目名の中から1科目のみ記入してください。

2. 受験科目欄

受験科目欄は、次の項目のいずれかにより、記入してください。

(1) 第1類希望者

①専門科目，外国語科目ともに免除要件に該当しない場合は，専門科目2科目（上記分類表の第1類専門科目のうちから選択）又は専門科目1科目（上記分類表の第1類専門科目のうちから選択）＋外国語科目1科目（英語，ドイツ語，フランス語のうちから選択）を記入してください。

ただし，外国人留学生は専門科目1科目（上記分類表の第1類専門科目のうちから選択）＋外国語科目（日本語）とします。

②外国語科目免除要件に該当する場合は専門科目1科目（上記分類表の第1類専門科目のうちから選択）を記入してください。

(2) 第2類希望者

①専門科目，外国語科目ともに免除要件に該当しない場合は，専門科目2科目（上記分類表の第2類専門科目のうちから選択）又は専門科目1科目（上記分類表の第2類専門科目のうちから選択）＋外国語科目1科目（英語，ドイツ語，フランス語のうちから選択）を記入してください。

ただし，外国人留学生は専門科目1科目（上記分類表の第2類専門科目のうちから選択）＋外国語科目（日本語）とします。

②外国語科目免除要件に該当する場合は専門科目1科目（上記分類表の第2類専門科目のうちから選択）を記入してください。

(3) 社会人特別選抜による志願者は小論文と記入してください。

(4) フェニックス入学による志願者は記入しないでください。

学生募集要項に関する照会先

法政システム専攻 広島大学大学院社会科学研究所学生支援室
(法政システム専攻入試担当)

〒739-8525 東広島市鏡山一丁目2番1号

TEL (082)424-7148

Eメール syakai-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

【電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、東広島市へ電話する場合、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

(広島市、安芸郡府中町、海田町、熊野町及び坂町の各地域)】

※ 学生募集要項の郵送を希望する場合は、請求する封筒の表面に「社会科学研究所博士課程前期法政システム専攻学生募集要項請求」と朱書のうえ、住所、氏名を明記し、240円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号 縦33.2cm×横24cm）を同封して上記の専攻入試担当へ請求してください。

※ **社会科学研究所 法政システム専攻のホームページ**

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/law/index.html>